

団体名		公益財団法人 武蔵野市子ども協会						
事業部	① 指標名	地域子ども館事業(学童・あそべえ事業)を軌道にのせる			目標値	子ども協会に運営を任せて良かったと評価される	実績値	施設職員体制を強化し、初年度の受託としては概ね良好な受託ができた。
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	88.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: )			事業の受託準備				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 子ども協会への事業委託により、市が期待している次の点について検証し、効果を説明できるようにする。 ①学童事業とあそべえ事業の連携強化 ②学校や地域との連携の強化 ③障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの支援強化 ④安心して子どもを任せられる現場対応力 ⑤子どもの健やかな育ちを支える育成の質の向上 ⑥子ども協会の運営により市が新たに得られる補助金を活用した人的体制の強化						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 平成29年度から12の地域子ども館(あそべえ事業と学童クラブ事業)の運営を市から受託し、受託に合わせすべての地域子ども館に館長を配置することで現場対応力を強化するとともに、あそべえと学童クラブの連携を図り、児童へのサービスの質の向上に努めた。平成29年度は、児童数が増える中、3つの小学校で支援の単位が一つずつ増設されたが、概ね良好な受託が出来た。運営等に係る評価については、地域子ども館アンケート調査(平成29年度実施)を基に平成30年度中に検証する予定である。達成率90%を超えるよう努める。						
二次評価	受託に伴い、現場対応力の強化と、あそべえと学童クラブの連携が図られたことを評価する。アンケート調査の結果検証を実施することで、更なるサービス向上に努めていただきたい。							
財務部	② 指標名	老朽化した施設の改修への対応			目標値	施設の適正な維持管理と改修の財源確保の検討	実績値	当面の維持管理及び今後の施設更新について市と協議を重ねた。
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	60.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: )		30.0%	50.0%				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①施設の管理については、当面の間、市の施設課の支援を受けることとなっているが、市からは将来的に協会施設の維持管理のあり方を検討するように求められている。将来的なあり方を検討し取り組んだ。 ②施設の大規模修繕については、公立園同様に市で管理をしている。今後の協会施設の大規模修繕に係る予算要求事務や実際の工事管理などの役割分担について検討を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 老朽化した施設で安全面から緊急工事をしなければならぬ時でも財源的に裁量の余地が極めて限定的なため、すみやかな対応が困難である。企画調整課、財政課を含めて協議を進めてきたことで、当面の維持管理に関しては市が直接支援していくこととなったが、将来どうするべきなのか、財政援助出資団体のあり方に関わる問題でもあり、引き続きよく協議をしていかなければならない。						
二次評価	施設の維持管理については、引き続き市と協議するとともに、第五次子どもプラン策定のなかで類型別施設整備計画を立てることで、安全確保とサービスの維持、向上に努めていただきたい。							
管理部	③ 指標名	職員の人事・給与制度の検討			目標値	職員のやる気のできる人事・給与制度の導入	実績値	職員研修の充実 無期雇用への対応 内部登用制度の運用
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	85.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: )	主任昇任試験制度導入	給与制度の見直し	70.0%				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市や各財政援助出資団体の制度の比較を行い、引き続きバランスのとれた人事・給与制度を検討した。 ②地域子ども館事業を受託し、いろいろな勤務体制ができたため、現在の職員とどのようにバランスを図るのかを検討した。 ③係長昇任試験制度を導入した。 ④新任研修実施等、職員研修の充実を図った。 ⑤退職後の高齢者の再雇用制度を導入した。地域子ども館館長1名 ⑥嘱託職員から正規職員への内部登用制度を適切に運用する。*地域子ども館2名 ⑦嘱託職員は無期雇用への整備を行った。 ⑧人事評価制度について研究を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 子ども協会は、学童・あそべえ事業を受託し、正規職員、嘱託職員を合わせて300名を超える大きな団体となった。優秀な人材を確保し、確実な育成が増えてきている。そのためには、職員のやる気のできる人事・給与制度の構築が必要である。職員研修計画を策定し、主任昇任試験制度の導入に引き続き、29年4月からは係長昇任試験制度等も導入した。給与制度については、市や他の財政援助出資団体に準じて改正を行ってきているが、まだ導入していない人事評価制度の検討など今後も引き続き検討を続けていく。						
二次評価	係長昇任試験制度の導入等、様々な取組みを評価する。引き続き、将来の職員構造を見据えた人事・給与制度の検討を行い、職員のパフォーマンス向上に取り組んでいただきたい。							